

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
設定日	2018年4月24日
信託期間	2018年4月24日～2028年4月21日（約10年）
運用方針	連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等を実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド」（連動対象ファンド）の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（連動債券）を通じて行います。 連動債券への投資比率は、原則として高位に維持します。 連動対象ファンドを対円で為替ヘッジした場合の投資成果を反映した連動債券に投資し、為替変動リスクの低減を目指します。
主要運用対象	連動債券への投資を通じて、欧州のバンクローン等を実質的な主要投資対象とします。
投資制限	・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月21日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

運用報告書（全体版）

第3作成期

決算日

第13期	2019年5月21日
第14期	2019年6月21日
第15期	2019年7月22日
第16期	2019年8月21日
第17期	2019年9月24日
第18期	2019年10月21日

欧州バンクローン・オープン （為替ヘッジあり）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第3作成期（第13期～第18期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込配	期騰 落率			
(設定日) 2018年4月24日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 193
第1期 (2018年5月21日)	9,989	0	△0.1	74.5	—	802
第2期 (2018年6月21日)	9,941	0	△0.5	94.8	—	1,397
第3期 (2018年7月23日)	9,925	0	△0.2	94.6	—	1,675
第4期 (2018年8月21日)	9,936	10	0.2	94.5	—	1,749
第5期 (2018年9月21日)	9,965	10	0.4	98.1	—	1,726
第6期 (2018年10月22日)	9,994	10	0.4	95.5	—	1,818
第7期 (2018年11月21日)	9,914	10	△0.7	96.2	—	1,767
第8期 (2018年12月21日)	9,742	10	△1.6	97.0	—	1,756
第9期 (2019年1月21日)	9,778	10	0.5	97.8	—	1,746
第10期 (2019年2月21日)	9,820	10	0.5	98.5	—	1,737
第11期 (2019年3月22日)	9,907	10	1.0	96.3	—	1,649
第12期 (2019年4月22日)	9,966	10	0.7	97.3	—	1,640
第13期 (2019年5月21日)	9,949	10	△0.1	96.6	—	1,645
第14期 (2019年6月21日)	9,945	10	0.1	97.8	—	1,651
第15期 (2019年7月22日)	9,933	10	△0.0	98.3	—	1,637
第16期 (2019年8月21日)	9,935	10	0.1	98.4	—	1,593
第17期 (2019年9月24日)	9,988	10	0.6	97.2	—	1,579
第18期 (2019年10月21日)	9,955	10	△0.2	96.2	—	1,357

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*基準価額の騰落率は分配金込み

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	債 券 先 物 率
			組 入 比	騰 落 率		
第13期	(期 首) 2019年4月22日	円 9,966	% —	% 97.3	% —	
	4月末	9,971	0.1	96.5	—	
	(期 末) 2019年5月21日	9,959	△0.1	96.6	—	
第14期	(期 首) 2019年5月21日	9,949	—	96.6	—	
	5月末	9,951	0.0	95.2	—	
	(期 末) 2019年6月21日	9,955	0.1	97.8	—	
第15期	(期 首) 2019年6月21日	9,945	—	97.8	—	
	6月末	9,941	△0.0	97.8	—	
	(期 末) 2019年7月22日	9,943	△0.0	98.3	—	
第16期	(期 首) 2019年7月22日	9,933	—	98.3	—	
	7月末	9,961	0.3	98.2	—	
	(期 末) 2019年8月21日	9,945	0.1	98.4	—	
第17期	(期 首) 2019年8月21日	9,935	—	98.4	—	
	8月末	9,942	0.1	98.4	—	
	(期 末) 2019年9月24日	9,998	0.6	97.2	—	
第18期	(期 首) 2019年9月24日	9,988	—	97.2	—	
	9月末	9,982	△0.1	97.2	—	
	(期 末) 2019年10月21日	9,965	△0.2	96.2	—	

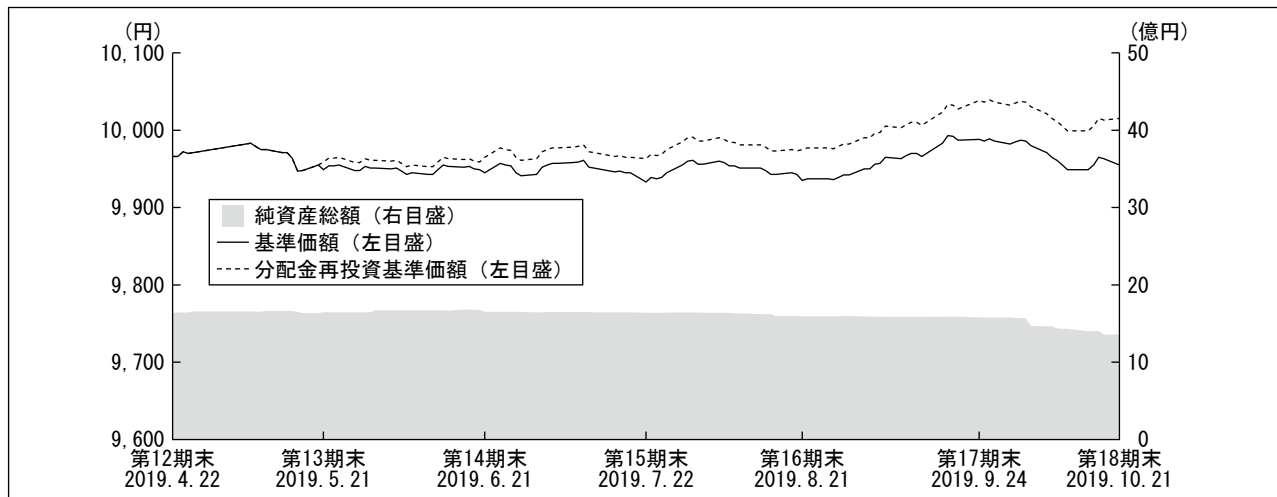
* 騰落率は期首比です。

* 期末基準価額は分配金込み

* 先物組入比率は、買建比率－売建比率

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第13期首：9,966円

第18期末：9,955円（作成対象期間における期中分配金合計額 60円）

騰落率：+0.5%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、連動債券（為替ヘッジあり）への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

主に投資をしているバンクローン資産からの高いインカムゲイン（利息収入）を安定的に享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。また、バンクローンに加えて担保付債券の組み入れやB格を中心とした格付け配分が、基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

米国景気の減速懸念や需給面から米ドル建てローンが作成期後半にかけて軟調となったことが、基準価額の下落要因となりました。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

【投資環境】

作成期を通じて見るとバンクローン市場は、米中貿易戦争や英国のEU（欧州連合）離脱問題などを背景に先行き不透明感が台頭し軟化する局面もありましたが、低金利環境が続く中、発行体企業の良好なファンダメンタルズ（基礎的条件）や安定したクーポン収入に支えられてプラスのリターンとなりました。

作成期初のバンクローン市場は、英国の合意なきEU離脱への警戒感の後退や、米中貿易協議の進展期待、また良好なファンダメンタルズの後押しもあり、堅調に推移しました。

作成期中盤は、欧州域内の景況感悪化を受けてECB（欧州中央銀行）ドラギ総裁による金利据え置き期間延長の発表や追加緩和の示唆、金利先安観の台頭に伴い、軟化する局面が見られました。

作成期後半は、米中貿易問題の混迷化に加え、欧州や中国に続いて米国でも軟調な経済指標が見られたことから、特に米ドル建てローンが弱含みに推移しました。ただし新規発行額が限定的となる中、利回り志向の高い機関投資家やCLO（ローン担保証券）の買い需要に支えられて、安定的に推移しました。

【ポートフォリオ】

■欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド」（連動対象ファンド）を対円で為替ヘッジした場合の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（連動債券）を通じて行い、作成期末の債券組入比率は96.2%としました。

■インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド（連動対象ファンド）

主として欧州通貨建てのバンクローンへの実質的な投資を高位に保つ運用を行いました。

個別銘柄選択では、業況不振が見込まれる銘柄や信用力に問題のある銘柄への投資を抑制し、第一優先権を有するシニア債務を中心に投資し、格付け別ではB格への配分を高位に保ちました。

業種別では、リスク調整後の相対価値を勘案し、サービス、ヘルスケアおよび情報技術関連銘柄への配分を高位に保つ一方、化学、製造、ケーブル・複合メディアおよび食品・タバコ関連銘柄への配分を低位に保ちました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第13期～第18期の各期において10円とさせて頂きました。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
	2019年4月23日 ～2019年5月21日	2019年5月22日 ～2019年6月21日	2019年6月22日 ～2019年7月22日	2019年7月23日 ～2019年8月21日	2019年8月22日 ～2019年9月24日	2019年9月25日 ～2019年10月21日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率) (%)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	267	287	307	327	351	372

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

引き続き、運用の基本方針に従い、連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。

■インベスコ・ゾディアック・ファンズ・インベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド（連動対象ファンド）

世界の成長見通しはここ数ヶ月間低下してきました。ユーロ圏、特にドイツは、製造業と輸出の減速に見舞われています。サービス部門は比較的好調を維持していますが、減速が波及する懸念が高まっています。ユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）は、8月の51.9から9月は50.1に低下しました。製造業の低迷が8月の47.0から9月は45.7へと深まり、サービス部門も53.5から51.6へと成長が鈍化したため、2013年以来の民間部門の鈍い伸びを示しています。これらを背景として、9月にECBは、11月から期限なしで月額200億ユーロの資産購入再開を発表するとともに、中央銀行預金ファシリティ金利をさらに0.10%下げて△0.50%にし、TLTRO（貸出条件付き長期資金供給オペ）スキームを通じた銀行貸付姿勢を修正しました。また、ユーロ圏の銀行の調達を保護するために「階層化」を導入しました。しかしこれに対する市場の反応は薄いものであり、今後さらなる利下げが期待されています。低金利環境が続く中、発行時におけるスプレッド水準の拡大によって利回りは依然として魅力的な水準と思われる、CLOの発行や機関投資家からの潜在的な需要は引き続き良好な見通しです。欧州圏の景気と政治情勢、貿易問題の行方、原油価格の動向、金融政策の方向性等は引き続きリスク要因として考えられますが、バンクローンは相対的に価格変動性が低く、担保を有しているという観点からも魅力的であると考えています。

当ファンドでは、リスク調整後の相対価値を重視しながら、引き続き、発行体のファンダメンタルズに対する詳細な調査を行い、個々のローンなどのバリュエーション（投資価値評価）を考慮したバランスの取れたポートフォリオの運営を行っていきます。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

1万口当りの費用明細

項目	第13期～第18期		項目の概要
	2019年4月23日～2019年10月21日		
	金額	比率	
信託報酬	50円	0.498%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,958円です。
（投信会社）	(16)	(0.161)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(32)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.012	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	51	0.509	

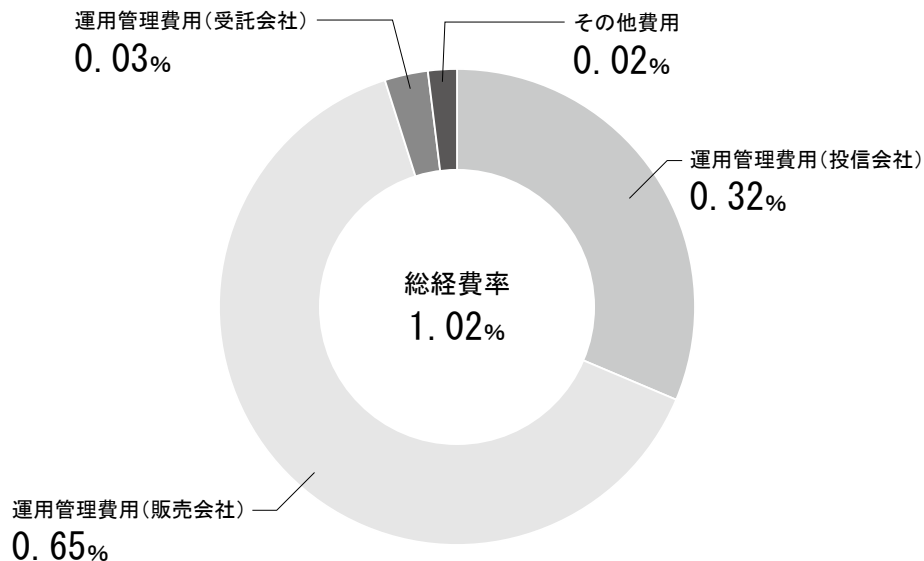
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

参考情報 総経費率（年率換算）



*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.02%です。

売買及び取引の状況

（2019年4月23日から2019年10月21日まで）

■ 公社債

決 算 期		第 13 期 ~ 第 18 期	
		買 付 額	売 付 額
国 内	社 債 券	千円 29,112	千円 298,398

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

主要な売買銘柄

（2019年4月23日から2019年10月21日まで）

■公社債

第 13 期		～	第 18 期	
買 付			売 付	
銘 柄	金 額		銘 柄	金 額
STAR Helios IESLF H 0 04/12/28	千円 29,112		STAR Helios IESLF H 0 04/12/28	千円 298,398

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

（2019年4月23日から2019年10月21日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2019年10月21日現在

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	第 18 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
普 通 社 債 券	千円 1,360,000 (1,360,000)	千円 1,305,464 (1,305,464)	% 96.2 (96.2)	% — (—)	% 96.2 (96.2)	% — (—)	% — (—)
合 計	1,360,000 (1,360,000)	1,305,464 (1,305,464)	96.2 (96.2)	— (—)	96.2 (96.2)	— (—)	— (—)

*（ ）内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	第 18 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
（普通社債券）	%	千円	千円	
STAR Helios IESLF H 04/12/2028	0.0000	1,360,000	1,305,464	2028/04/12
合 計	—	1,360,000	1,305,464	—

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

投資信託財産の構成

2019年10月21日現在

項 目	第 18 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	1,305,464	92.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99,121	7.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,404,585	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年5月21日) (2019年6月21日) (2019年7月22日) (2019年8月21日) (2019年9月24日) (2019年10月21日)現在

項 目	第 13 期 末	第 14 期 末	第 15 期 末	第 16 期 末	第 17 期 末	第 18 期 末
(A) 資 産	1,673,564,734円	1,682,248,469円	1,647,631,368円	1,622,627,078円	1,592,041,593円	1,404,585,276円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	82,796,523	67,331,456	37,956,422	54,332,595	56,878,836	98,520,304
公 社 債(評価額)	1,589,652,000	1,614,723,000	1,609,379,000	1,567,897,000	1,534,668,000	1,305,464,000
そ の 他 未 収 収 益	1,116,211	194,013	295,946	397,483	494,757	600,972
(B) 負 債	28,223,976	30,709,361	9,739,524	29,493,406	13,035,780	47,551,998
未 払 収 益 分 配 金	1,653,722	1,660,652	1,648,912	1,603,476	1,580,887	1,363,200
未 払 解 約 金	25,249,105	27,613,326	6,653,149	26,499,623	9,908,464	44,999,999
未 払 信 託 報 酬	1,307,728	1,407,519	1,395,202	1,334,442	1,475,400	1,106,452
そ の 他 未 払 費 用	13,421	27,864	42,261	55,865	71,029	82,347
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,645,340,758	1,651,539,108	1,637,891,844	1,593,133,672	1,579,005,813	1,357,033,278
元 本	1,653,722,047	1,660,652,413	1,648,912,335	1,603,476,720	1,580,887,975	1,363,200,080
次 期 繰 越 損 益 金	△ 8,381,289	△ 9,113,305	△ 11,020,491	△ 10,343,048	△ 1,882,162	△ 6,166,802
(D) 受 益 権 総 口 数	1,653,722,047口	1,660,652,413口	1,648,912,335口	1,603,476,720口	1,580,887,975口	1,363,200,080口
1万口当り基準価額(C/D)	9,949円	9,945円	9,933円	9,935円	9,988円	9,955円

*元本状況

期首元本額	1,645,701,542円	1,653,722,047円	1,660,652,413円	1,648,912,335円	1,603,476,720円	1,580,887,975円
期中追加設定元本額	41,258,308円	40,320,213円	958,583円	2,815,859円	873,284円	852,194円
期中一部解約元本額	33,237,803円	33,389,847円	12,698,661円	48,251,474円	23,462,029円	218,540,089円
*元本の欠損	8,381,289円	9,113,305円	11,020,491円	10,343,048円	1,882,162円	6,166,802円

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

損益の状況

	自2019年4月23日 至2019年5月21日	自2019年5月22日 至2019年6月21日	自2019年6月22日 至2019年7月22日	自2019年7月23日 至2019年8月21日	自2019年8月22日 至2019年9月24日	自2019年9月25日 至2019年10月21日
項 目	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期
(A) 配 当 等 収 益	6,248,825円	6,340,733円	6,423,988円	6,208,395円	6,106,354円	5,454,992円
受 取 利 息	6,153,765	6,252,690	6,325,501	6,110,314	6,012,414	5,353,785
そ の 他 収 益 金	99,166	92,209	101,603	100,168	96,795	103,415
支 払 利 息	△ 4,106	△ 4,166	△ 3,116	△ 2,087	△ 2,855	△ 2,208
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 5,971,308	△ 3,948,418	△ 5,321,140	△ 2,868,032	5,295,990	△ 7,499,054
売 買 益	106,341	91,896	22,291	106,890	5,338,642	404,524
売 買 損	△ 6,077,649	△ 4,040,314	△ 5,343,431	△ 2,974,922	△ 42,652	△ 7,903,578
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,345,338	△ 1,437,594	△ 1,425,619	△ 1,365,742	△ 1,506,464	△ 1,136,426
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 1,067,821	954,721	△ 322,771	1,974,621	9,895,880	△ 3,180,488
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	338,855	△ 2,335,623	△ 3,018,308	△ 4,844,213	△ 4,407,654	3,367,488
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,998,601	△ 6,071,751	△ 6,030,500	△ 5,869,980	△ 5,789,501	△ 4,990,602
(配 当 等 相 当 額)	(7,298,129)	(8,252,461)	(8,216,712)	(8,060,788)	(7,971,115)	(6,895,690)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,296,730)	(△14,324,212)	(△14,247,212)	(△13,930,768)	(△13,760,616)	(△11,886,292)
(G) 計 (D+E+F)	△ 6,727,567	△ 7,452,653	△ 9,371,579	△ 8,739,572	△ 301,275	△ 4,803,602
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,653,722	△ 1,660,652	△ 1,648,912	△ 1,603,476	△ 1,580,887	△ 1,363,200
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 8,381,289	△ 9,113,305	△11,020,491	△10,343,048	△ 1,882,162	△ 6,166,802
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,998,601	△ 6,071,751	△ 6,030,500	△ 5,869,980	△ 5,789,501	△ 4,990,602
(配 当 等 相 当 額)	(7,298,129)	(8,252,461)	(8,216,712)	(8,060,788)	(7,971,115)	(6,895,690)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,296,730)	(△14,324,212)	(△14,247,212)	(△13,930,768)	(△13,760,616)	(△11,886,292)
分 配 準 備 積 立 金	36,911,619	39,424,993	42,473,138	44,471,497	47,539,898	43,926,987
繰 越 損 益 金	△39,294,307	△42,466,547	△47,463,129	△48,944,565	△43,632,559	△45,103,187

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期
(A) 配当等収益（費用控除後）	4,903,487円	4,903,139円	4,998,369円	4,842,653円	5,299,643円	4,318,566円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 （費用控除後、繰越欠損金補填後）	0	0	0	0	0	0
(C) 収 益 調 整 金	7,298,129	8,252,461	8,216,712	8,060,788	7,971,115	6,895,690
(D) 分 配 準 備 積 立 金	33,661,854	36,182,506	39,123,681	41,232,320	43,821,142	40,971,621
分配可能額 (A+B+C+D)	45,863,470	49,338,106	52,338,762	54,135,761	57,091,900	52,185,877
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(277.33)	(297.1)	(317.41)	(337.61)	(361.14)	(382.82)
収 益 分 配 金	1,653,722	1,660,652	1,648,912	1,603,476	1,580,887	1,363,200
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

分配金のお知らせ

決算期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期
1 万口当り分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。